

人と地域が輝く未来へ

健幸都市こうし



平素より市政全般にわたり
ご理解ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。
令和7年が、活気あふれる輝かしい年となりますよう、
市民の皆さんのご健康とご多幸をお祈りし、
ご挨拶とさせていただきます

市長 荒木 義行

令和7年は

健幸元年にしよう

皆さんには日頃から市議会に対して
温かいご指導とご協力を頂き深謝申し上げます。
令和7年が、健幸で実り多き一年となりますことを
心よりお祈り申し上げます。



市議会議長 後藤 修一

議長

令和6年は年明け早々、能登半島地震が発生し、被災地支援のため、本市職員を派遣しました。さらに、8月には、日向灘を震源とする地震の発生に伴い、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が初めて発表されました。私たちは8年8カ月、熊本地震を経験し、防災意識は高く保たれているかと思いますが、今一度防災について事前の対策を講じる必要性を感じました。

また、私たちが暮らす熊本においては木村知事が就任、国政では石破新内閣が発足したほか、世界を見ますと、アメリカ大統領選挙でトランプ氏が返り咲き、まもなく新政権発足を控えているなど、まさに『変化の1年』でした。

こうした中、県内においては、T S M C 進出に伴うサプライチェーンなど、企業の集積や雇用の創出による県全体の経済活性化への波及期待が一段と高まっています。本市においても、『ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社』が熊本新工場の立柱式を行ない、セミコンテクノパーク周辺への半導体産業の集積の動きが加速しています。

また、市人口は6万5000人を突破し、辻久保地区には『ゆめモール合志』が誕生しました。さまざまな店舗が並び、連日賑わいを見せています。

令和7年度は新しい県の都市マスタープランの10年計画の元年となる年

令和6年を振り返りますと、元日の石川県能登半島で最大震度7を記録する大地震が発生しました。さらに、9月には被災地を豪雨が襲い被害が拡大しました。亡くなられた人のご冥福をお祈りするとともに、被災地の迅速な復旧と復興をお祈りします。

経済に目を向けますと、長引くロシアによるウクライナ侵攻の影響により、依然として燃料や飼料の高騰が続いています。また頻発する異常気象により米や野菜の価格が上がるなど家計への負担も大きくなっています。市からはさまざまな物価高騰対策に対応する議案が提出され、議会で審議を行ないました。コロナ禍以降、臨時的でスピードを要する対応が求められる案件が多くみられるようになりましたが、市議会としても市民の皆さん、事業者のニーズの把握に努め、将来世代へ責任ある判断と行動をとっていく所存です。

本市を取り巻く環境はJ A S M 工場の開所やこども部の新設、人口6万5000人への到達など、コロナ禍を乗り越えて目まぐるしい変化の中にあるとらえています。市では第3次基本構想に『市民』、『市行財政』が共に健幸であるまちを未来へ繋いでいくことを目標に総合計画を策定しています。県の健康寿命は男性で72・24歳、女性で75・59歳と全国平均とほぼ同じです。しかし、本市の特定健診の受診

です。市民、企業の声を聞きながら、素案となる夢をつなぐ未来への道路をセミコンテクノパーク周辺に整備していければと考えています。その中で、中九州横断道路の早期完成は非常に重要な整備となっていきます。しかし、この道路によって市の発展の格差が生じないよう、しっかりと国、県と連携していくことが重要となってきます。そのために、本市も木村知事の掲げる新しい発想のモノづくり、半導体産業、農業、さまざまな“知”を集積するようなサイエンスパーク構想に寄与し、農業、商業の連携を深めていきます。こどもたちが学び、子育て世代が暮らしやすい、また、若者が結婚しやすい環境に向けて、家庭とも連携し、住み続けたい都市になるようさまざまな課題に挑戦し、開かれた行政を目指します。

結びに、将来の変化に対応し、市民一人一人が本市発展の恩恵を受けて豊かさを実感できる『健幸』であるまちを未来へ繋いでいけるよう、『人と地域が輝く未来へ』健幸都市こうしの実現を目指します。市議会や市民の皆さん、企業などさまざまな形で協力しながら街づくりを進め、職員一同まい進しますので、変わらぬご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

率は全国、県の37%強に対し33%と低い状態が続いています。市ではさまざまな健診のサポートが準備されています。令和7年はぜひ、健診を受けて肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも健幸な生活を目指していきましょう。

最後になりますが、市議会ではヤングケアラー支援条例の制定や議会広報委員会と中学生との意見交換会、新規就農者、市内創業者、環境美化推進員との意見交換会を開催するなど多様な意見の傾聴に努めています。これからも開かれた議会を目指し、市民の皆さんとの接点を深め、市政発展に寄与していく所存です。今後も変わらぬご指導とご協力を頂きますようお願い申し上げます。



▲市民との意見交換会